平成27年1月22日（木）下野新聞掲載

life くらし

健康110番

国際医療福祉大学病院です　㉗

0歳の孫が夜間に高熱

Q 生後11カ月の孫娘がいます。いつも突然の発熱におろおろしています。先日も夜の9時に顔が普段より赤いので熱を測ったところ39・7度ありました。機嫌はよく、水分もしっかり取れていましたが、どうすべきなのでしょう。

A 発熱は小児のさまざまな病気でみられますが、多くは風邪や胃腸炎など細菌やウイルスによる感染症です。熱は高いほど重症と思われていますが、熱の高さは重症度と関係がありません。小児科医は発熱のお子さんを診た時に、風邪など自然に良くなる可能性の高い病気なのか、肺炎や脱水など緊急の治療が必要な病気なのかを注意深く見ています。

郡司勇治小児科部長

今回のケースのように、機嫌がよく水分もしっかり取れていれば、全身状態はよく、重症の病気の可能性は低いと考えられます。

でも、お子さんは急に症状が悪化することもありますので、以下のような症状に注意が必要です。

水分取らせ、機嫌を観察

イラスト/仲田育代　SHIMOTSUKE GRAPHICS

まずは痙攣やぐったりして目で物の動きを追おうとしないなどがあれば、すぐに受診が必要です。機嫌や顔色が悪いことも重症感染症の可能性があります。

その他の症状では、水分が取れない、おしっこ、頭痛、嘔吐、呼吸困難、下痢、腹痛などに注意しています。水分が取れずおしっこが出ていないと、脱水症の危険が高く、点滴治療が必要なことがあります。頭痛を伴う嘔吐は髄膜炎の症状のことがあります。

また、お子さんは「呼吸困難がある」とは言ってくれません。呼吸の回数が速い、息を吸う時に肋骨と肋骨の間がへこむ、鼻の穴の上がピクピクするなどあれば、肺炎などが心配です。息をはくときにゼーゼーする時はRSウイルス感染症、息を吸う時に特に喉のあたりでゼーゼーすればクループという病気の可能性もあります。

下痢や腹痛はロタやノロによるウイルス性胃腸炎や大腸菌による細菌性腸炎などでみられます。前者は白色便、後者は血便を伴うことがあり、脱水症に注意が必要です。

上記のような症状があれば救急外来への受診を考えてください。

お熱が出た時のお家での対処ですが、まずは安静が大切です。そして脱水症の予防のために水分補給が重要です。お熱さましは病気そのものを治しているのではなく、症状を和らげるものです。一時的に下がった時に少し楽に眠れるようになり、水分が取れて脱水症の予防になると考えていただければと思います。

いろいろと大変だと思いますが、おばあちゃん、お母さん頑張って。でも頑張りすぎないでね。

（小児科部長　郡司勇治）

（第2、4、5木曜日掲載）